

◎特集 1 / 「実践的防災教育推進事業」について

◎特集 2 / 韮高SSHの目指すもの

◎特集 3 / 芸術の秋

- 「インクルーシブ教育システムの構築」に向けた国の動向について
- 平成26年度 インターハイ開催まであと1年を切りました
- 県立科学館と学校との関わり
- ミュージアム甲斐・ネットワーク／富士川・切り絵の森美術館、ポール・ラッシュ記念センター
- らくがき 甲府市立池田小学校 砂長完郎 教諭  
身延町立身延中学校 望月美彦 教諭
- 埋蔵文化財センター 県指定史跡甲府城跡 鉄門(くろがねもん)を知っていますか？
- 学校紹介／北杜市立高根清里小学校、甲州市立大和中学校
- 総合教育センター情報／「わたしらしさ」を応援します 相談支援部における相談業務について
- サポステ・学校連携推進事業
- 宮城県への派遣に対して感謝状が贈呈されました
- 「山梨県教職員文化展」の作品を募集しています！
- 山梨の文化財／重要文化財(彫刻)木造浅間神像
- 主な行事予定



## 「実践的防災教育推進事業」について

— 義務教育課・高校教育課 —

## ◇はじめに

平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震は、甚大な被害をもたらし、多くの人命が失われました。

県内でも震度五強を観測し、大きな被害こそありませんでしたが、各学校では地震発生時の避難行動、保護者への連絡体制や引き渡し、下校の措置、停電や交通機関の麻痺への対応、避難場所での防寒に対する備え等、学校における防災教育や防災管理に多くの課題を残しました。

山梨県教育委員会では、東日本大震災の教訓を受け、より実践的な防災教育が県内の全ての学校で行われるよう「実践的防災教育推進事業」に平成二十四年度から取り組んでいます。

本事業は、「推進委員会」と次の三つの「細事業」で構成されています。

## 【推進委員会】

推進委員会は、本事業を円滑に実施することを目的とし、各学校の取組に対し、それぞれの立場や経験から具体的・専門的な指導や助言を行っています。メンバーは、山梨大学大学院教授、関係機関担当者（甲府地方気象台、甲府地区消防本部）、県PTA関係者、教育委員会防災教育担当者等で構成されています。

## 【細事業】

## I 防災に関する指導方法等の開発・普及等のための支援事業

## (1)概要

児童生徒等の「主体的に行動する態度」を育成するための教育手法や緊急地震速報等の防災に関する科学技術等を活用した避難行動に係る指導方法の開発・普及等を行う取組。

## (2)内容

## ①緊急地震速報受信システム設置

本事業では、次の学校に緊急地震速報受信システムを設置しています。

平成二十四年度

- ・ 甲府市立貢川小学校
  - ・ 甲府市立富竹中学校
  - ・ 市川三郷町立市川南小学校
  - ・ 市川三郷町立市川南中学校
  - ・ 道志村立道志小学校
  - ・ 道志村立道志中学校
  - ・ 身延高等学校
  - ・ 富士河口湖高等学校
  - ・ やまびこ支援学校
  - ・ 学校法人身延山学園身延山高等学校
- 平成二十五年年度
- ・ 身延町立下部小学校

- ・ 身延町立下部中学校
- ・ 忍野村立忍野小学校
- ・ 忍野村立忍野中学校
- ・ 吉田高等学校

## ②緊急地震速報受信システムを用いた実践的な避難訓練の実施

緊急地震速報受信システムでは、気象庁が発表する緊急地震速報をもとに、各学校の所在地における予想される震度や、主要動到達時刻を入手することができます。

また、予想された主要動到達時刻をカウントダウンする機能もあり、避難訓練にも活用できる機能を備えています。（テレビ等で発表される緊急地震速報は、一般向け緊急地震速報といわれ、揺れの強さは震度階級ではなく「強い揺れ」等と表現されます。また、具体的猶予時間は報じられません。）

実際の地震災害はいつ発生するか分かりませんが、学校生活では常に教室にいても限りません。屋内ではまず、落下物、転倒



物、ガラスの飛散等から身を守ることが大切です。上からものが「落ちてこない」、「横からものが「倒れてこない」、「移動してこない」場所を探し、頭部を保護すること、机があればその下にもぐり、机の脚を持つようにすることなど、子どもたちには、指示がなくてもこれらの身を守る行動ができるようにしておく必要があります。

緊急地震速報受信システムを活用した避難



訓練では、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所と判断して避難行動をとった場所が、ガラスでできた天窓の真下であったり、揺れが収まり図書室から校庭へ避難するために整列したにもかかわらず、別校舎の教室に戻ってしまったといった、児童生徒の避難行動に多くの課題があることが明らかになり、その後の指導に生かされました。

一方、緊急地震速報のチャイム音を耳にするだけで恐怖を感じる子どもがいるということも分かり、心のケアの重要性も改めて確認されました。

## II 学校防災アドバイザー活用事業

### (1) 概要

外部の専門家を学校防災アドバイザーとして学校に派遣し、「危険等発生時対応要領」や避難訓練などに対するチェック・助言及び、学校と地域の防災関係機関等との連携体制の構築に関する指導・助言等を行うことにより、児童生徒等の安全確保に向けた体制の改善を図る取組。

### (2) 内容

学校防災アドバイザーは小・中学校六校、県立学校一校の計七校に派遣されました。

派遣された小・

中学校では、教職員や児童生徒を対象とした防災に関する学習会や講話が行われました。また、地域との連携を深めるために、保護者も対象に含めた学習会が開催された学校もありました。



学校防災マニュアルに関しては、対応漏れを防ぐためにチェックリストを活用することや、管理職不在時の指示系統の明確化、通信手段が途絶した際の医療機関との連絡やけが人の搬出、避難所運営についての助言をいただきました。

## III 災害ボランティア活動の推進・支援事業

### (1) 概要

児童生徒等が支援者としての視点から、被災地の災害ボランティア活動等を行うことを通じて、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める教育手法の開発・普及等を行う取組。

### (2) 内容

東日本大震災の避難所では、子どもたちが避難所の清掃や食料を配布したり、高齢者と触れ合う場面が見られました。

各学校では被災地でのボランティア活動経験者による講演や、応急手当の方法を学ぶ教室が開かれ、ボランティア活動への意識を高める取組が行われました。

### ◇おわりに

自然は豊かな恵みをもたらしてくれます。しかし、一方で地震をはじめとする自然災害は、ひとたび発生すると大きな被害を与え、時には大切な命を奪うこともあります。

山梨県教育委員会では、今後も各市町村や地域の方、保護者の方と連携する中で、子どもたちに自ら危険を予測し、回避するための「主体的に行動する態度」を身に付けさせ、安全で安心な社会づくりに貢献する「共助・公助」の精神を育成していきます。そして、単に自然を恐れるのではなく、自然に畏敬の念を抱きつつ、ふるさと山梨を愛する豊かな心をもつ子どもの育成のために努めて参ります。

特集 2

蕪高SSHの目指すもの

— 県立蕪崎高等学校 —

平成二十四年度に本校はSSH指定校となりました。昨年度はSSHとしての「蕪高モデル」の模索と基礎づくりに奔走した一年でした。現在、指定期間五年間の二年目の活動に取り組んでいます。

蕪高SSHでは、生徒にとつての「学びのテーマ」の発見、それに続く「主体的能動的に問題解決に取り組む姿勢」の創出、それを経て「未来の科学者」の卵の誕生を目指しています。

○専門家から科学技術の研究を学ぶ「アドバンス講座」

まずは学校設定科目「スカラーI」（二年次・二単位）「同II」（二年次・三単位）を設定し、新しい科学教育のカリキュラムを開発しています。また、コミュニケーション能力の向上を目指す「SSIイングリッシュ」（二単位）「サイエンス英語」（二単位）といった英語学習にも力を入れています。

スカラーにおいては、以下のような年間十三テーマを設定し、各領域の研究者の方々による特別授業を実施しています。

蕪高SSHでは、ただ専門家の話を聞いて終わりというわけではありません。事前に展開される本校理科・数学科教員による「自然科学基礎」の授業を「アドバンス講座」の内容と有機的に連動させ、生徒と本校教員と研究者が三位一体となり教材を開発し、それを活用し授業を展開しています。基礎的・探究的な内容を充実させ、研究者の発するメッセージを科学的に正しく理解できるように配慮しています。生徒が思考する機会、時には専門家とディスカッションできるような場面を設定し、能動的な学習活動を大切にしています。

- ①ワインの科学 ②生命の設計図DNA
  - ③生態系と里山の保全
  - ④クリーンエネルギーの科学
  - ⑤災害と防災の科学 ⑥ロボットサイエンス
  - ⑦iPS細胞と再生技術
  - ⑧宇宙研究と小型衛星開発
- (以上、スカラーI)
- ⑨水と流域環境の研究
  - ⑩ウイルス感染症と薬剤開発
  - ⑪クローンマウスの誕生 ⑫燃料電池の未来
  - ⑬微生物相から生物多様性を考える
- (以上、スカラーII)

○本物に触れる感動が意欲を生む「サイエンスツアー」  
もう一つの活動の柱が「サイエンスツアー」という科学研修です。地元山梨大学を中心に県内外の大学や研究所と連携し、充実した研修講座を展開しています。

昨年度の三月には、最大のツアーである鹿児島科学研修に四十名の生徒が参加しました。屋久杉とコケが織りなす驚異の生態系を実際に知る屋久島生物多様性観察会ではそのダイナミックな自然の営みを知りました。JAXA種子島宇宙センターでは本物のロケットエンジンや巨大な発射場を見聞し、そのスケールの大きさに圧倒され、鹿児島大学においては、iPS細胞の確立に貢献した山中研究室出身の研究者から特別講義をしていただきました。参加した生徒にとり、心に強く残るツアーになりました。

今夏は「電気を通すプラスチックで液晶を作ろう」や「自分のアルコール耐性をDNA解析しよう」などの山梨大学実験研修八講座に、八十名以上の生徒が参加し研鑽を積みました。

さらに、大型のツアーとして「関西科学研修」を七月に実施しました。科学研究の進歩に、テクノロジがどのくらい貢献しているかという新しい視点を盛り込んだ研修です。スーパーコンピュータ「京」やSpringer 8といった世界最高水準のテクノロジとの出会いがありました。

○課題を見つけ、主体的に解決に取り組む生徒を育てたい

このような、二本柱の活動とリンクして「グループ課題研究」に生徒は取り組んでいます。昨年度は十八の研究チームが、互いに協力し工夫しな



鹿児島科学研修で研究者に質問する生徒（平成25年3月）

から実験研究を進めていました。身近な疑問から出発したものや本格的な科学研究に相当する研究テーマなど多様な研究内容でした。その一例を紹介しましょう。

本校では自然科学部や文理科において、課題研究や実験研究が盛んに行われてきた経緯があります。私たちは、このような答えがすぐに出ない課題に取り組むことはとても重要だと考えています。我慢強く努力し結果を得るといふプロセスは、何事にも代え難い貴重な体験であり、これは科学研究のみならず人生における課題解決の方法論でもあります。この活動を通して「自ら問題を見つめる能力」「論理的な思考力」「能動的な姿勢」といった資質を備えた生徒に育ってほしいと願っています。

さらにSSHの指定をチャンスと捉え、今年度、自然科学部を発展的改組し、「物理化学」「環境科学」「生物研究」の三部を正式に立ち上げました。特に「生物研究部」は、SSH指定のおかげで、シヨウジョウバエというモデル生物の研究において、首都大学東京、東邦大学の専門家との連携をさらに深めることができました。その結果「ストレス応答と寿命」に関する研究を日本分子生物学会（昨年十二月）で発表するという成果を上げることができました。このような研究者との連携を、今後はSSHにおけるグループ課題研究の活動全体にも広げていき、「蕪高モデル」の軸に育てたいと考えています。

### ○地域再発見・・・地元の良さに気づいてほしい

私たちは、地域に根ざしたSSH活動を本格化させていきたいと思っております。これまで実施してきた地元の中学生と本校生の交流「サイエンスレクチャー」



自ら仮説を設定し、実験研究によって検証する方法論を学ぶ

- ・天然色素の抽出と色素増感型太陽電池の作製
- ・アルコール発酵における糖の種類が発酵に与える影響
- ・一晩寝かしたカレーは、なぜおいしいのか
- ・キイロシヨウジョウバエは何色が見えるのか
- ・アミラーゼ充填バイオリアクターの作成と性能評価
- ・ヒレの形状が推進力に与える影響を解析する

に続けて、今年度は小学生に科学の楽しさを伝える実験工作教室を予定しています。将来的には、地域の中学校の科学部と本校科学部による地域をテーマとする共同研究ができれば素晴らしいと考えています。

山梨県の中でも特に蕪崎という地域は、自然が豊かで、太陽光発電など次世代エネルギーの研究が盛んに行われています。一方でそれは科学で解決すべき問題があるということも意味します。実際に生態系の画一化が進行していることを専門家から伺う機会がありました。今私たちは地元の財産でもある「甘利山」に注目しています。山梨環境科学研究所およびNPO法人甘利山倶楽部の方々と、五月、七月とフィールドワークによる生態調査を実施してきました。専門家の方々と植物相・昆虫相の変遷を長期に渡り追跡していく計画です。また環境科学部、生物研究部と生徒の有志により、甘利山の土壌微生物のスクリーニング（セルロース分解菌など）や窒素態成分の分析が現在進行中です。これらの活動を通じて生徒には、地域の良さを再発見と解決すべき環境問題の存在を知ってほしいと考えています。

一年間のSSH諸活動を検証した結果、生徒には次のような大きな変化が起き始めていることがわかってきました。（昨年度末意識調査、（ ）の数値は比較対照群・普通科習熟度クラスの生徒）

- ・科学的な疑問を持つようになった 86%（39%）
- ・科学的な疑問を調べようになった 86%（32%）
- ・科学的、論理的に考えるようになった 78%（37%）
- ・ディスカッションができるようになった 89%（42%）

蕪高SSHは、これからも「生徒の望ましい変容」を目指し、様々な教育プログラムや教材開発に取り組みながら「蕪高スタイル」を構築していきます。一年目を終え、一定の成果は得られたと考えていますが、まだ課題はたくさんあります。県内のSSH先輩校や多くの教育関係者の皆様にも、その豊富な経験からご意見やご助言を賜りますようお願いいたします。



平成25年3月に行われた文理科SSH研究交流会（中学生も参加）

芸術の秋

— 学術文化財課 —

厳しかった夏の日差しも少しずつ和らいできています。いよいよ「芸術の秋」の到来です。県立文化施設では、力を込めた特別展・企画展を開催し、皆さんのお越しをお待ちしています。

また、秋が深まるに連れ、各施設の周辺では、紅葉が進み、青空をバツクに赤や黄色の鮮やかな色合いを見せ始めます。爽やかな空気のなか、「芸術の秋」をお楽しみください。

県立美術館

「日本のわざと美」展く重要無形文化財とそれを支える人々く

県立美術館では「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の保持者たちの優れた「わざ」と「美」を紹介しています。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙など、伝統技術を受け継ぎつつ新たな技法や表現を追求し、豊かな感性を注ぎ込んだ約百九十点の作品で、日本の美意識と手仕事の粋に触れることができます。

このうち陶芸は、華やかな色絵や彩釉、美しい肌の白磁や青磁、志野や萩、瀬戸黒などの茶器、瀟洒な唐津や備前など、その土地の粘土と釉薬、装飾技法を用いた様々な陶磁器が並んでいます。また漆芸は、美しい艶の漆塗の器、蒔絵や螺鈿、沈金な



十四代酒井田柿右衛門  
《濁手枝垂桜文鉢》



室瀬和美  
《蒔絵螺鈿八稜箱「彩光」》

ど精緻で華麗な装飾を施した箱など、多様な表現を目にすることができま。 「日本のわざと美」展く重要無形文化財とそれを支える人々くは、九月七日（土）から十月十四日（月・祝）までです。

県立文学館

「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」

与謝野晶子（一八七八—一九四二）は、近代日本を代表する歌人として知られていますが、短歌だけでなく詩・童話・小説・古典研究など幅広い創作活動を行っています。大

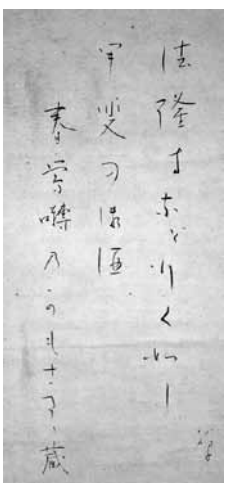
正から昭和にかけては、女性の自立や教育問題等についての評論活動に積極的に取り組みました。

晶子は山梨とのゆかりも深く、富士北麓や上野原市などを訪れ、地元の人々と交流し、豊かな自然や風物を歌に詠んでいます。

一九三三（昭和八）年には、夫の寛と南巨摩郡富士川町の萬屋醸造店を訪れ、「法隆寺など行く如し甲斐の御酒（みき）春鶯囀（しゅんのうてん）のかもさるる蔵」の歌を残しました。六十三歳の生涯を華麗に生きた晶子の人生と作品を、山梨での足跡とともに紹介します。



与謝野晶子  
（1878～1942）



萬屋醸造店蔵

「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」は、九月二十八日（土）から十一月二十四日（日）までです。

県立博物館 「山梨の名宝」展

本展では、山梨に伝わる文化財を、国宝・重要文化財を中心に、考古・信仰・武士に関わる三テーマにわたって紹介します。

南アルプス市鑄物師屋遺跡から出土した土偶は、その形式が特徴的とされる中部地方から関東地方にかけて作られた縄文時代中期の土偶の中でも、最も均整がとれて美しく、非常に優れたものとして著名なものです。今回はこの土偶のほか、同じく鑄物師屋遺跡から出土した、土器類もあわせて展示します。



国宝 夏景山水図 久遠寺

信仰関連では、国宝に指定されている甲州市向嶽寺の達磨図、身延山久遠寺の夏景山水図の二幅の絵画を、同時に展示する期間があります。



重要文化財 大日如来坐像  
(大日如来及四波羅蜜菩薩坐像のうち)  
宝珠寺

このほか、南アルプス市宝珠寺の大日如来及四波羅蜜菩薩坐像は、全国的にも類のない貴重なものとして知られますが、近年の修理後、寺外で初めて公開されます。

武士に関わるものとしては、後奈良天皇宸筆にして武田信玄の手を経た、甲府市の浅間神社に奉納された、紺紙金泥般若心経を紹介します。また、戦国時代を代表する肖像画も展示します。

本県の素晴らしい文化財と、それらを育んできた豊かな歴史を、この機会に是非ご堪能ください。「山梨の名宝」展は、十月十九日(土)から十二月二日(月)までです。なお、会期中は展示替えがあります。お目当ての作品を、お見逃し無く。

県立美術館 「生誕一〇〇年 萩原英雄」展

萩原英雄(一九一三～二〇〇七)は、甲府市に生まれ、東京美術学校(現 東京藝術大学)で油絵を学んだ後、木版画の制作を始めました。

木版画は高い評価を受け、国際的な展覧会で数々の賞を受賞しました。その他、油絵や水彩、コラージュなど数多くの多彩な作品も残っています。本展では、作家から寄贈された約四千点の中から作品を選び出し、生誕一〇〇年を迎えた萩原英雄の軌跡を振り返ります。



萩原英雄  
(1913～2007)

萩原英雄にとって富士山は最も力を入れて取り組んだテーマの一つでした。幼い時に故郷・山梨を離れた萩原にとって、富士山は故郷や両親を象徴するものでした。最初に手がけた「三十六富士」シリーズは、様々な地点を巡って富士山をスケッチし、二十五年の歳月をかけて完成させたものです。しかしこれに留まらず「拾遺富士」「大富士」と計三シリーズ、

合計五十五点の富士を作り上げました。本展では、これら富士山のシリーズ全点を含め、その他の萩原のシリーズ作品も全て展示いたします。



《三十六富士 お山は小焼》

「生誕一〇〇年 萩原英雄」展は、十月二十六日(土)から十二月八日(日)までです。

# 「インクルーシブ教育システム構築」に向けた国の動向について

— 新しい学校づくり推進室 —

## ◆はじめに

文科省では、特別支援教育に係った学校教育法施行令の一部改正を予定しています。本稿では、改正に至る経過とその概要、改正に関連した中心的課題である「インクルーシブ教育システムの構築」について説明したいと思います。

## ◆これまでの経過

平成十八年に「障害者の権利に関する条約」が国連で採択され、我が国は、翌年同条約に同意署名しています。同条約の第二十四条によれば「インクルーシブ教育システム」（署名時仮訳）包容する教育制度」とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な限り発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的の下、障害のある者となない者が共に学ぶ仕組みであることが述べられています。また、その権利の実現に当たり確保するもの一つとして、個人に必要とされる「合理的配慮」が提供されることとしています。

国においては、現在、批准に向けた条文の解釈の整理と国内法の整備を進めています。平成二十三年には、「障害者基本法」の一部が改正されました。なお同法第十六条には、教育についての規定もあります。

教育の分野では、これまで中教審の特別委員会での検討を重ね、昨年七月に「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」という報告書が公表されました。

## ◆中教審報告書のポイント

中教審報告書では、特別支援教育は、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のために必要不可欠なものと位置付けており、これまでの特別支援教育を更に推進することが重要であるとした上で、次のような内容を指摘しています。

### ①就学先決定の仕組みの変更

就学基準（施行令二十二条の三）に該当する障害のある子どもは、特別支援学校に原則就学するという仕組みを改め、総合的な観点から就学先を決定する。その際、本人・保護者との合意形成を得ることを原則に、最終的には市町村教委が決定する。

### ②多様な学びの場の整備

就学後も児童生徒の障害の状態等が変化した場合、他校種への在籍変更が可能という視点を持つこと。更に、個々の子どもへの教育的ニーズに応じて、連続性のある多様な学びの場として「通常の学級」「通級による指導」「特別支援学級」「特別支援学校」各々の環境整備の充実を図ること。

### ③合理的配慮と基礎的環境整備

合理的配慮とは、全ての子どもが平等に「教育を受ける権利」を享有・行使するために個別的に必要なものであり、その基礎となる教育環境の整備（基礎的環境整備）と併せて、その提供に努めること。

なお、中教審報告書の全文は、文科省ホームページ

ジに掲載されています。

## ◆直近の国の動向

文科省は、本年九月一日の施行を目的とする「学校教育法施行令の一部を改正する政令案の概要」を発表し、パブリックコメント（意見公募手続）を実施しました。

基本的には、中教審の報告書の具現化を目指して、文科省では、次の三点について施行令の改正作業を進めています。

- ・就学先を決定する仕組みの改正
- ・視覚障害者等による区域外就学等
- ・保護者等からの意見聴取の機会の拡大

また、文科省は、都道府県教委に対して、インクルーシブ教育システムとは、障害がある全ての子どもたちを通常の学級に在籍させることを目的としていないと説明しています。つまり、その子どもにとって、最も適した教育内容及び学びの場を提供することが重要だということです。

## ◆おわりに

国の施策である「インクルーシブ教育システムの構築」を踏まえ、県では、本年度から心理士等の外部専門家を配置し、総合教育センターの相談支援機能と特別支援学校のセンター的機能を充実させ、幼稚園、小学校・中学校及び高等学校へのサポート体制を更に強化することや、関係機関との連携を緊密にする調整会議を設置することなどを目的とした特別支援教育体制強化事業を開始しました。





## 平成26年度インターハイ開催まであと1年を切りました 高校生も準備にがんばっています!!

— 全国高校総体推進室 —

### 1 平成25年度インターハイの視察

平成25年7月28日（日）から8月20日（火）まで、大分県を中心に開催された平成25年度インターハイ（北部九州総体）を県生徒実践委員会の各分科会代表生徒9名が視察しました。

生徒たちは、地元の高校生が大会にどのように参加しているかなどを熱心に調査しました。この視察を通して学んだことを、平成26年度インターハイの開催に向けた今後の活動に活かして欲しいと思います。

生徒を引率してくださった支援連絡会委員の4名の先生方、ありがとうございました。



#### ◆総合開会式視察（大分県大分市）

日程：7月27日（土）～7月29日（月）

- ・内藤 京先生（白根高校）
- ・若林克弥さん（白根高校／ホッケー分科会）
- ・遠藤柚葉さん（身延高校／おもてなし分科会）
- ・守屋実紀さん（都留高校／おもてなし分科会）

#### ◆サッカー（男子）・卓球視察（福岡県福岡市他）

日程：7月31日（水）～8月2日（金）

- ・志村勇造先生（葦崎高校）
- ・生山綾華さん（葦崎高校／サッカー分科会）
- ・秋山純輝さん（甲府西高校／卓球分科会）

#### ◆陸上競技・ボート視察（大分県大分市他）

日程：8月1日（木）～8月3日（土）

- ・野澤香穂先生（甲府南高校）
- ・長井 碧さん（甲府南高校／陸上競技分科会）
- ・小林佑紀さん（吉田高校／ボート・カヌー分科会）

#### ◆自転車競技・ホッケー視察（大分県別府市他）

日程：8月1日（木）～8月3日（土）

- ・吉岡大地先生（日川高校）
- ・小川佑斗さん（日川高校／自転車・ウエイト分科会）
- ・中澤諒平さん（巨摩高校／ホッケー分科会）



### 2 分科会のPR活動

平成25年7月13日（土）に白根中央公園や山梨学院ホッケースタジアムなどで開催された東日本ホッケー大会で、県生徒実践委員会ホッケー分科会の生徒が大会参加者や応援の保護者などにポケットティッシュを配布し大会をPRしました。



今後も、各分科会を中心に積極的なPR活動を行っていきたいと考えています。各学校の支援連絡会委員の先生方を始め、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

#### 公式ホームページ

<http://www.2014soutai.jp>

2014 総体

検索

#### 【問い合わせ】

全国高校総体推進室

TEL 055-223-1640

## 県立科学館と学校との関わり

— 県立科学館 —

科学館では、様々な場面において、学校との連携を行っています。

### ○学習利用

県内の学校団体、保育園・幼稚園の団体の方に遠足として科学館をご利用いただいています。体験できるプログラムも、展示チャレンジシート、プラネタリウム、天体観測室、実験・工作教室、サイエンスショー、あそびの部屋など様々です。

プログラムの内容は、「授業の導入の実験を見たい」「教科書で扱う星をみたい」「こんな実験をしてもらいたい」という学校の要望にお応えします。新しいプログラムを開発し、実施することも可能です。今年度、学習利用案内（冊子）を更新し、ますます見やすくなりました。たくさんの方の学校のご利用をお待ちしています。



### ○教員研修会の開催

学校の先生方だけでなく、保育園、幼稚園の先生、児童館の指導員の方々など、多くの方を対象に研修会を開催しています。学校現場では、教材開発や予備実験、材料を準備する時間を、なかなか確保できない、とよく耳にします。そこで、科学館の持っている「もの作り」のノウハウや、実験技法の提供など研修をとおして学んでいただいています。ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

学校と連携している面白い事業を1つご紹介しましょう。

### ○リフレッシュ理科教室

応用物理学会東海支部、山梨大学、教育センターと協力し、夏休みに開催しています。本事業は、先生方に教育現場で使える実験や工作を紹介し、現場の理科授業・課外活動に活かしていただきながら、先生にも理科の面白さを知ってもらうことを目的としています。さらには、大学の先生と関わることで、先生方に、基礎から最新の科

学技術までを知る機会を提供すること、教育という共通の立場で、現場の先生方と大いに学び合い、協力しあえる環境を作ることを目標としています。今年も、多くの先生方にご参加いただきました。

科学館は、「子ども達の遊び場」だけではなく

小学生はもちろんのこと、中学生や高校生向きの実験や工作、プラネタリウムもたくさんあります。また、先生方の「こんな実験を試してみたい」「なにか良い実験はないか」「ボランティアとして活動してみたい」の声にもお答えします。どうぞ、お気軽に科学館へお越しください。

### お問い合わせ先

山梨県立科学館  
電話 〇五五―二五四―八一五一



## ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～

— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設の紹介をします。

### 富士川・切り絵の森美術館（身延町）

富士川・切り絵の森美術館は、平成22年3月に身延町の富士川クラフトパーク内に開館いたしました。全国でも珍しい切り絵を専門とする美術館です。

常設展示館では、レース切り絵作家の蒼山日菜氏や、一画二驚「光の切り絵」で有名な酒井敦美氏の作品など国内外の特色ある美しい切り絵作品を数多く展示しており、これまで、全国から6万人を超える方々の来館をいただき、その魅力は年ごとに広がっています。

企画展示館では、これまで「ポーランドの切り絵展」をはじめ国内著名作家による企画展など開いて参りましたが、本年は、「第28回国民文化祭やまなし2013」の身延町主催事業である「国際切り絵コンクール・イン・身延・ジャパン」の公募入選作品を9月7日(土)から11月10日(日)まで展示しています。

世界12カ国から応募され、見事に入賞あるいは入選された素晴らしい作品140点が展示公開されます。切り絵文化の多様さと美しさをどうぞご堪能下さい。

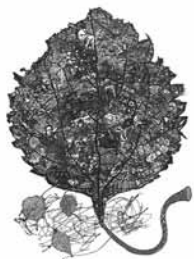
**住 所** 南巨摩郡身延町下山1597  
**電話番号** 0556-62-5545  
**休 館 日** 水曜日(祝日は除く)  
**開館時間** 9:30～17:30(春～夏)/  
 10:00～17:00(秋～冬)

**入 館 料** 国際切り絵コンクール展 無料  
 常設展 一般500円・小中学生200円  
 (20名様以上は、一般400円・小中学生150円)

**U R L** <http://www.kirienomori.jp/>



芝生ギャラリー外観



コンクール・グランプリ  
 ～ Fade away ～



常設展示会場内観

### ポール・ラッシュ記念センター（北杜市）

北杜市・清里にある「ポール・ラッシュ記念センター」は、清泉寮を開設し、清里開拓の父と呼ばれるアメリカ人、ポール・ラッシュ博士の功績と理念を伝える資料館です。

ラッシュ博士が清里の人として亡くなるまでの54年におよぶ日本とのかかわりを追いかける展示は、日米の架け橋となった博士の生き方から「真の国際交流とは何か」を学び、戦後の荒廃した寒村「清里」でモデル農村作りを実践し、人々に自立を促した方法を知る事によって、博士が考えた「豊かに生きること」の意味を考えるものになっています。

ラッシュ博士が晩年を過ごした住居も、建てられた場所に保存・公開しており、昭和の雰囲気や博士の日常を感じることができます。

また、ラッシュ博士は日米の若者同士の交流や、チームビルディングの有効性に注目して、日本にアメリカンフットボールを紹

介・普及させた功績を認められ「日本アメリカンフットボールの父」という称号をいただいており、当館には国内唯一の「日本アメリカンフットボールの殿堂」が併設されています。

**住 所** 北杜市高根町清里3545 (公財)キープ協会内  
**電話番号** 0551-48-5330  
**休 館 日** 水曜日、展示替日(要問合せ)  
 夏季は休館日なし(要問合せ)

**開館時間** 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
**入 館 料** 大人500円、小・中学生200円、幼児無料  
 (20名様以上は団体割引有)

**U R L** <http://www.PaulRuschMC.com>

**駐 車 場** 無料(乗用車9台分)

**交通案内** 清泉寮より徒歩5分



記念センター外観



館内展示 トラクター



ポール・ラッシュ邸書斎



らくがき



「理科って 楽しいね。」  
砂長 完郎

意気に感ず  
望月 美彦

ふと気がつく小学校教員として25年もの歳月が過ぎようとしている。その中で最近1番気になることは、子どもたちの理科離れ、科学離れという言葉をよく耳にすることである。自分の子ども時代を思い返すと、今の季節であればセミやカブトムシ・ザリガニなどの小動物を毎日のように捕まえて遊んでいた。しかし、今の子どもたちの遊びは大きく変化し、自然と向き合う経験が少なくなったことは確かである。

理科の授業でも、昆虫や植物に対する興味や関心は二極化している傾向がある。しかし、実験中の子どもたちは、好奇心に満ち溢れているように感じられる。

今年は4年生を担当しているので、電気の学習で直列回路や並列回路を作り、モーターの動きを調べる実験を行った。試行錯誤を繰り返しながら回路を組み立てている姿、モーターが回ったとき、嬉しそうにモーターを見つめる姿、繋ぎ方を間違え電池が熱くなっているのを体感している姿、そんな様子を見ていると「理科離れ・科学離れ」といった言葉は、子どもたちの中に存在しない。

小学校の段階で「理科が好き」そんな子どもたちを、たくさん育てていかなければいけないと感じさせられた一場面であった。「先生、理科って楽しいね。」こんな言葉がたくさん聞けるように、今後も実践を積み重ねていかなければと思っている。

(甲府市立池田小学校)

身延中では「チーム身延中」を合い言葉に、教職員と生徒が一丸となり、「自立友愛」の学校づくりを進めている。特に今年は、保護者や地域の方の御協力も得ながら、授業と家庭学習のサイクルの構築を目指している。部活動も活発だ。校長先生の意気が、皆を動かし、皆の意気が校長先生を支えている。

私は、私の人格形成に大きな意義のあった高校の部活動に思い入れがあり、部活動をプロデュースしたくて教員を志望した。だから、チームを感じられる職場は大好きだ。教員生活もすでに30年が過ぎ、その間に結婚、子育て、子どもの結婚、孫の誕生と、私の私生活は激変してきた。最近は自身の老いもだいたい感じる。身体も情熱も思うようにならないが、部活が好き、チームプレイが好きという気持ちは変わらない。

校長先生が監督とすれば、私はADのような立場の役職についている。私はこの教務主任という仕事が大好きだ。力不足は否めないが、部活のディレクターと学校のADを楽しんでいる。

(身延町立身延中学校)

## 県指定史跡 甲府城跡 鉄門(くろがねもん)を知っていますか?

— 県埋蔵文化財センター

### ◆ 鉄門とは?

甲府城は、豊臣秀吉の命により文禄・慶長年間(1590年代)に築城された城郭です。この甲府城の本丸(ほんまる)と天守曲輪(てんしゅくわ)の境に建てられていたのが鉄門です。

鉄門は、その礎石に確認されている矢穴や、江戸時代に描かれた絵図から、築城当初からあったものと考えられています。享保12年(1727)の甲府大火において焼失を免れた鉄門は、大きな修理を行った記録は確認されていないことから明治初年の廃城後に取り壊されるまで、創建時の姿を保っていたと考えられます。このたび廃城から140余年の時を経て、この鉄門が復元整備されました。



約140年ぶりによみがえった鉄門

### ◆ 鉄門へ行ってみよう!!

鉄門は2階建ての櫓門(やぐらもん)という形式で、1階が門、2階が櫓(武器などを納めたり、敵を見張ったりする施設)になっています。櫓の床には石落としがあり、ここから石などを落として門の前に迫る敵を攻撃しました。

ここ鉄門では、季節ごとに、楽しみながら甲府城を学べるイベントを開催しています。様々な見どころ満載の鉄門に是非足をお運びください!!

### ■ お問い合わせ先 県埋蔵文化財センター

電話 055-266-3016 / FAX 055-266-3882

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>



鉄門の櫓(2階)内部と「呼び子笛作り」の様子

## 地域の中で、地域の方々とともに育つ子どもたち

～ひと、もの、しぜんとの関わりを通して～

### 北杜市立高根清里小学校

本校は、東経138°26'54"、北緯35°54'08"、標高1165メートルの清里高原にある全校児童数が85名の学校です。

全ての教育活動の中で、「ひと、もの、しぜん」をキーワードにして取り組んでいます。

◇「ポール・ラッシュ祭カンティフェア」への参加  
「地域の人や他県の人とのふれあいを深め、自分の役割を果たすことに喜びを感じることができる。」をねらいとして、平成23年度から、全校で終日参加するようになりました。

4～6年生は「総合的な学習の時間」に種まきから育苗まで取り組んだ「ビオラ」の苗の販売、3年生は「国語科」で学習したことを生かした来場者への「学校紹介」、1・2年生は「生活科」で木の実

や自然素材で作った来場者への「工作のプレゼント」などを行っています。「ポール・ラッシュ祭カンティフェア」への参加では、キャリア教育の4つの視点も大事にしながら、活動を進めています。

◇地域の方とともに

地域の人や施設を活用した授業も数多くあります。生活科で保育園児を招待してサツマイモ植えや収穫を行う1、2年生、社会科で校区探検に出かける3年生、総合的な学習の時間で、大門ダムの水質検査など環境学習に取り組む4年生、牧場の見学に行き酪農について学習する5年生、学校林などを活用して清里の自然を学ぶ6年生。それぞれの学年が郷土「清里」の「ひと、もの、しぜん」を通して日々学んでいます



「ポール・ラッシュ祭カンティフェア」でのビオラ販売



保育園児との交流サツマイモ植え

## 地域と密着した教育の実践 ～地域の方々に支えられ成長する大和中の生徒たち～

### 甲州市立大和中学校

本校は、「翠も深き山峡を・・・」で始まる校歌のとおり、豊かな自然に囲まれています。すぐそばのJR甲斐大和駅には、南大菩薩連峰や竜門峡のハイキングコースを目指す登山客が降り立ちます。

生徒たちは校訓「友愛・協力」のもと、学習や部活動、縦割り活動などに、学年の枠を越えて取り組んでいます。

◇歴史と文化を継承する担い手

甲州市大和町は武田家終焉の地であり、一族をまつる菩提寺の景德院は、人々の心のよりどころとなっています。毎年4月に行われる「信玄公祭り」、「ふるさと勝頼公祭り」には、男子生徒が武者姿の勝頼隊として、女子生徒が武田家一門の魂を慰める巫女として参加し

ています。女子生徒が奉納演舞する「巫女の舞」は、昭和53年に地域の人々によって創作され、以来、本校の女子生徒が代々奉納し続けています。

勝頼公を慕う心を今に伝える伝統行事です。

◇長く続いている地域クリーンアップ作戦

通学路のゴミを拾いながら登校するクリーンアップ作戦は、長く続く毎月末の恒例行事となっています。拾って分別したゴミの量は、給食時に生徒会役員が発表します。統計では、ゴミは夏休み後に多くなります。そこで、昨年は、地域や観光客に向けたポスターを作り、ゴミ捨て防止を呼びかけました。今年も、ゴミのないきれいな町づくりのため、活動していきます。



景德院の庭で出陣を待つ生徒



ゴミを分別している生徒

# 「わたしらしさ」を応援します 相談支援部における相談業務について

総合教育センター 相談支援部

総合教育センター相談支援部は、平成二十二年四月に、それまでであった「教育相談部」と「特別支援教育部」が統合して新しい体制となり、四年目を迎えました。

現在は、「教育相談担当」「特別支援教育担当」「適応指導教室」が相互に連携しながら、学校生活に困難を抱えている児童生徒やその家族、学校に対して、相談・支援を行っています。ここでは、それぞれが行っている相談業務について紹介しますので、御活用ください。

## 教育相談担当

いじめ・不登校などをはじめとする、学校生活や家庭生活の悩み事や困っていることについて電話や面接での相談を行っています。

○電話相談 〇五五―二六三―三七一

（いじめ・不登校ホットライン）

三六五日・二十四時間体制で、専門の電話相談員が対応します。

○面接相談

\*電話での予約が必要です。

本センターの研修主事が、対応します。

〈対象〉

児童生徒 保護者 教職員

〈相談日〉

平日 午前九時～午後五時

\*面接の予約は、電話相談の電話番号へ。

## 特別支援教育担当

障害のある児童生徒に関する就学や転入学、学校生活における適切な支援の在り方について、相談・支援を行っています。

○電話相談 〇五五―二六三―四六〇六

平日 午前九時～午後五時

○来所相談 \*電話での予約が必要です。

平日 午前九時～午後五時

・就学・転入学に関する相談・検査

・学校生活における適切な支援の在り方についての相談・検査

・「教育相談における所見」の発行

○訪問相談 \*学校の依頼文が必要

・学校に向向いて、支援の方法を検討します。

○巡回相談の申込み・受付

・特別支援教育担当にお問い合わせください。

**“わたしらしさ”を応援します**

山梨県総合教育センター 相談支援部

---

**教育相談**

私たちは、いままさに、問題や悩みの前にいるあなたを応援します。

誰かに、あなたの話を聞いてもらって、ホッとすることはありますか？  
誰かに悩みを話しているうちに、どうしたらよいか、自分で気づいたことはありませんか？

答えはみんな、あなたの中にあります。あなたらしいやり方で問題や悩みに向き合えるように、私たちはお手伝いしたいと考えています。

学校に行きたくても行けない、学校に行く気持ちがおこらなくなってしまう、友だちや先生とうまく関わるができない、志しみてがいついっばいになってしまった、そんなときに私たちに相談してみてください、いっしょに考えましょう。

**面接相談**

本人・保護者の方などに教育相談室においていただき、相談員とカウンセリングを行います。

相談日 平日  
相談時間 午前9時～午後5時

※事前に電話で日時をご予約ください  
電話：055-263-3711

**電話相談**

いじめ・不登校 ホットライン

みんないい  
電話：055-263-3711  
電話で専門の相談員がお話をうかがいます。

相談時間 通年365日  
24時間いつでも

---

**特別支援教育**

お子さんの発達に関する相談はこちらへ・・・

- ・関わり方や支援方法に関すること
- ・特別支援学校への入学・転学、特別支援学校への入級に関すること
- ・他の相談機関の紹介等

電話相談：055-263-4606  
来所相談：電話での予約が必要です。  
相談時間：平日 午前9時～午後5時

### ＜教育相談の案内＞

4月に学校を通じて、家庭に配付しました。

**24時間電話相談**

いじめられている... いじめ・不登校 ホットライン  
友達とうまくいきらない...  
やる気が出ない...  
学校に行きたくもない...  
ストレスの対処法...  
新しいやメンタルトレーニングの方法...

**055-263-3711**

山梨県総合教育センター

山梨県教育委員会

### ＜案内カード＞

9月に小4、中1、高1生に配付します。

こすもす教室（適応指導教室）  
不登校に陥っている児童生徒の支援のために、石和・韮崎・都留にこすもす教室を開設しています。各教室では、心の居場所づくりを第一に考え、一人一人の実態やニーズに応じた学習支援、体験活動、訪問指導、教育相談を行っています。

○教育相談 \*随時  
児童生徒・保護者に対する面接相談

〔石和〕 〇五五―二六三―二二七一  
〔韮崎〕 〇五五―二二二―二二二二  
〔都留〕 〇五五―四四一―二二六一

\*詳しくは、各教室にお問い合わせください。または、総合教育センター相談支援部ホームページを御覧ください。  
[http://www.ypec.ed.jp/htmldocs/?page\\_id=18](http://www.ypec.ed.jp/htmldocs/?page_id=18)

『サポステ・学校連携推進事業』 山梨県若者サポートステーション  
[リバース和戸館内 055-230-2239]



2013年版「子ども・若者白書」によると、15～34歳の若者のニート（若年無業者）は、前年度比約3万人増の約63万人となり、同年代に占めるニートの割合は、2.3%で、統計を開始した1996年以降で最も高くなっています。また、県教委社会教育課によると、山梨県内のニートは、約4000人いると推定されています。



厚生労働省は、ニートなどの若者の就職的自立を支援するため「地域若者サポートステーション事業」（略称サポステ）を実施し、支援体制の強化を図ってきています。山梨県では平成18年に厚生労働省から委託を受けた、公益財団法人山梨県青少年協会が「山梨県若者サポートステーション」を運営し、各機関と連携を図り支援しています。

今年度から国中地域の「山梨県若者サポートステーション」に加えて、郡内地域にも「ぐんない若者サポートステーション」（富士吉田市内）が開設されました。また、「サポステ・学校連携推進事業」がスタートし、山梨県教育委員会やハローワーク等関係機関の協力体制のもと、学校との連携を構築し、在学生及び中退者の支援を推進することにより、ニート化の未然防止や職業的な自立支援の促進を行うものです。



近藤誠一文化庁長官（当時）から感謝状を贈呈される田口さん

東日本大震災により甚大な被害を受けた東北三県に対して、復興を進める上で必要な埋蔵文化財調査のため、全国から多くの専門職員が派遣されています。

平成二十四年度には全国の自治体から四十五名の職員が派遣され、本県からも埋蔵文化財センターの田口明子副主幹・文化財主事が平成二十四年四月から一年間、宮城県に派遣されました。

田口さんは、三陸沿岸道路四車線化に伴う山王遺跡の調査や防災集団移転に伴う波怒棄館遺跡の調査を担当、宮城県職員や他の派遣職員とともに現場作業にあたり、被災地の復興に力を尽くしました。

この貢献を称え、本年五月二十八日、文化庁長官から感謝状が贈呈されました。

なお、本年度も引き続き宮城県に文化財主事一名が派遣されています。

宮城県への派遣に対して感謝状が贈呈されました



山梨県教職員文化展は、教職員（公立学校共済組合員等）の作品の展示を通して、創作技術等の向上と教職員相互の親睦・交流を図ることを目的とし、今年度で三十八回目を迎えます。今年度の開催にあたり、教職員の皆様から作品を募集しています。日頃の創作活動の成果をこの機会に是非ご発表ください。作品の応募要領につきましては、各所属へ送付しました通知、または、公立学校共済組合山梨支部のホームページをご覧ください。

「山梨県教職員文化展」の作品を募集しています！  
福利給与課

作品募集

期間 平成二十五年十一月一日（金）まで

部門 美術部門・写真部門・書道部門

山梨県教職員文化展の開催予定

期間 平成二十六年一月十八日（土）午後

～二十四日（金）（二十日は休館日）

会場 山梨県立美術館

主催 山梨県教育委員会

公立学校共済組合山梨支部

県民ギャラリーA・B

お問い合わせ

公立学校共済組合山梨支部

電話 〇五五―二二三―一七四五

# 山梨の文化財

重要文化財（彫刻）

## 木造浅間神像（南アルプス市 浅間神社）

（平成二十五年六月十九日指定）

この像は、背中合わせに三方を向く女性像（女神）と、その上の仏像（如来）の形式で表わされた半身像を一本の木材から彫りだしたもので、高さ四〇・五センチメートル、表面に着衣などの彩色を伴うものです。

目鼻や衣の縁をくつきりと刻みだす刀の使い方や、胸の厚い体型などの特徴より、平安時代（十一世紀）の製作と考えられています。また中心に載る如来像の髪が耳を覆い、胸部までの半身像として表わされる形式は、十一面観音像の頭部の一番上のもの（頂上仏面）としてしばしば見られるもので、疫病を消し去る利益があるとされています。

十一世紀頃には、富士山がしきりに噴火を起しており、噴火は兵乱や悪病流行の前兆として畏れられていました。このため噴火を鎮める願いを込めて浅間神社が祀られてきましたが、富士信仰にかかわる古い記録では、浅間神は女神とされていたことが知られます。この神像が、如来の形をも併せ持つ他に例を見ないスタイルで表わされたことは、頻発する富士山の噴火を背景とし、併せて疫病の災いを除きたいとの当時の人々の切実な願いも託されています。



木造浅間神像

木造浅間神像は、特異な形の平安時代の神像として注目され、古代の富士山信仰に関連する神像としては、現存最古の作例であり、唯一長く伝えられてきた彫刻遺品としても極めて価値が高いものです。

## 主な行事予定

### 県立美術館

特別展

「日本のわざと美」展  
重要無形文化財とそれを支える人々

9 / 7 ~ 10 / 14

### 県立博物館

企画展

「山梨の名宝」

10 / 19 ~ 12 / 2

### 県立考古博物館

特別展

「食いしんほうの縄文人いざとなったら縄文食」日本の食と心の源流

9 / 25 ~ 11 / 24

### 県立文学館

企画展

「与謝野晶子展 われも黄金の釘二つ打つ」

9 / 28 ~ 11 / 24

## 表紙を飾る

山梨県立わかば支援学校  
ふじかわ分校

中学部美術2グループ共同作品

### 作品タイトル「海」

筆の扱い方を工夫して、太い線や細かい線、大きい点や小さい点などを書く練習をしました。そして、海の歌を歌ったり、映像を見たり、波の音を聞いたりしてイメージをもち、みんなで大きな和紙に海を表現しました。

歌詞は一行ずつ担当して書き、まとまりの中にも生徒一人一人の個性が感じられる作品になりました。

指導者：三木 瑞穂 教諭

## 「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

- ◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。  
アドレス：kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX：055 - 223 - 1744
- ◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。  
URL：http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/46150769857.html